

「鉄道災害調査隊」の創設について

～自然災害等により被災した鉄道施設等の早期復旧を支援します～

鉄道・運輸機構（JR TT）では、新幹線の建設等で培った技術力を活用して、自然災害等により被災した鉄道施設等の早期復旧を支援するため、被害状況の調査など技術的支援を行う「鉄道災害調査隊」を発足させることにしました。

鉄道・運輸機構（JR TT）は、新幹線等の鉄道建設で培った技術力を活用して、「鉄道ホームドクター制度」や「災害復旧工事の受託」を通じて災害復旧支援を行ってきました。

近年、激甚化・頻発化している自然災害により多くの鉄道路線が被災し、被災時の支援活動の強化や復旧の早期化が急務となっていることを踏まえ、被災時に鉄道・運輸機構の職員で構成する「鉄道災害調査隊」を発足させることにしました。

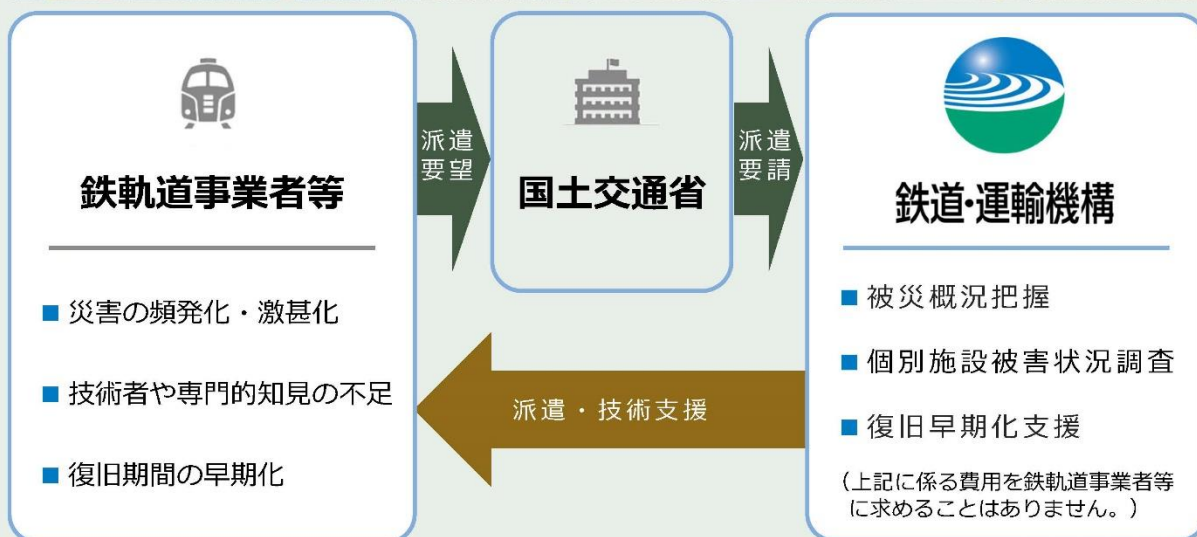
出水期を迎え、今後、河川の氾濫による浸水や土砂災害による被害が発生することも懸念されます。「鉄道災害調査隊」では、豪雨、台風、地震、津波などの自然災害により、鉄道施設等への被害が生じ、鉄道事業者等が鉄道・運輸機構の支援を必要とする場合に、国土交通省からの派遣要請に基づいて、いち早く被災現場に出向いて、被災現場の全体像の把握、個別施設ごとの被害状況の調査、本格復旧に向けた技術的助言等の支援を行います。

<本件に関するお問合せ先>

鉄道企画調査部 鉄道総合支援課 大中、山本
TEL 045-222-9059

鉄道災害調査隊の支援内容

鉄道・運輸機構「**鉄道災害調査隊**」は、新幹線の建設等で培った技術力を活用して、自然災害等により鉄軌道施設等が被災した場合、鉄軌道事業者等からの派遣要望を踏まえた国土交通省からの派遣要請に基づき、いち早く現地に出向き、鉄軌道事業者等を支援します。



Q 設計業務や復旧計画策定、復旧工事を鉄道・運輸機構に要請することは可能ですか？

- 復旧工事等については、鉄軌道事業者等において実施することとなりますが、鉄軌道事業者等から要請があった場合には、可能な範囲で受託して行います（ただし、鉄軌道事業者等の費用負担を伴います）。
- 詳しくは右のQRコードをスマートフォン等から読み取りまたは「鉄道・運輸機構 受託業務」とウェブ検索してください。



初動の支援

被災概況把握

鉄道災害調査隊を派遣し、被災した路線について、現地踏査や小型無人機（ドローン）の活用等により、被災現場の全体像を迅速に把握し、二次災害発生防止のための技術的助言を行います。



目視による被災現場の全体像の把握

応急復旧の支援

個別施設被害状況調査

被災した鉄軌道施設について、個別施設ごとに被害の状況を調査し、鉄軌道事業者等が実施する応急復旧に対する技術的助言を行います。



路盤の流出状況の測定

本格復旧の支援

復旧早期化支援

早期復旧に向けて、必要な追加調査項目や恒久復旧対策について鉄軌道事業者等へ技術的助言を行うとともに、これらの助言や被害状況の調査結果を被害状況調査報告書として取りまとめて手交します。



【事例】令和元年台風第19号の被害に伴う復旧支援

三陸鉄道リアス線では、令和元年10月の台風第19号により、宮古駅～釜石駅間で線路への土砂流入や路盤崩壊などが30力以上で確認されるなど、一時、路線全体の約7割で運転が見合わせとなる甚大な被害が発生しました。三陸鉄道株式会社から支援要請を受けた鉄道・運輸機構は、いち早く職員を派遣して現地調査に入り、調査結果の報告及び運転再開に係る技術的助言など、復旧のために全面的な技術支援を行い、令和元年11月28日には津軽石駅～宮古駅間が部分開通、令和2年3月20日には全線が開通するなど、三陸鉄道リアス線の早期復旧に協力しました。